



「アンモニア燃料船開発」の共同プロジェクトがグリーンイノベーション基金事業に採択

川崎汽船株式会社

2021年10月26日

川崎汽船株式会社(以下、「当社」)は、伊藤忠商事株式会社(以下、「伊藤忠商事」)、NS ユナイテッド海運株式会社(以下、「NS ユナイテッド海運」)、日本シッパード株式会社(以下、「日本シッパード」)、株式会社三井E&S マシナリー(以下、「三井E&S マシナリー」)の4社と共に、このたび、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が公募した事業「グリーンイノベーション基金事業／次世代船舶の開発プロジェクト／アンモニア燃料船の開発」に共同で応募し、採択されました。

本プロジェクトは、IMO(国際海事機関)が掲げる温室効果ガス(GHG)削減戦略の達成に向け、各方面から代替燃料の候補として注目されるアンモニアを用い、2028年までの出来るだけ早期にアンモニア燃料船を日本主導で社会実装し、日本の海事産業がゼロ・エミッション船分野で長年に渡り優位性を維持出来る形を目指し、他国に先駆けて推進システム・船体開発、及び、保有・運航を行うものです。

会社	役割
三井E&S マシナリー	1. アンモニア燃料タンク・燃料供給システムの開発 2. アンモニア焚主機関関連技術開発 3. アンモニア燃料船特有の安全性に関する開発 4. アンモニア燃料船の実証運航
日本シッパード	1. アンモニア燃料タンクを搭載した船体開発 2. 船内アンモニア燃料ハンドリングシステム 3. 船内安全システム 4. 実船実証による研究開発内容の検証
川崎汽船	

当社は、本年6月に立ち上げた「アンモニアに関する協議会」(注1)を通じて、アンモニアの船用燃料利用を目指し検討を進めております。今後は、本共同プロジェクトの4社と共に、有望なゼロ・エミッション燃料であるアンモニアを船用燃料として社会実装すべく取り組んで参ります。



(注1) 次世代船用燃料として期待されるアンモニアに関する協議会

https://www.kline.co.jp/ja/news/Liquefied_gas/Liquefied_gas4995119058538398514/main/0/Link/210611JA1.pdf